

7月訓練#4神の民は主の導きを求め、主の臨在を持ち、**主の勝利を展覧して彼のからだを建造し、彼の王国を拡大する必要がある**9/13-19 **OL Summary**: I. 二人の斥候

がエリコに来たとき、ラハブ(遊女でありカナン人であった)は、彼らと接触し、彼女の信仰から出た行動によって進んで彼らを受け入れ、彼らを隠し、彼らを解き放ちました。ラハブはイスラエルの神を信じ、宣言しました、「エホバ・あなたがたの神、彼こそは、上は天にあって

も下は地にあって神であられる」(ヨシュア2:11b):

A. エホバは地を得るために遊女ラハブをヨシュアに備えました。彼女は神にある信仰のゆえに、「不従順な者たちと共に滅びませんでした」。ラハブはイスラエルと彼らの神に転向し、神と神の民に信頼しました。**B.** ラハブと彼女の家族が救われることのしるしは、彼女が彼女の家の窓に赤い糸のひもを結んだことでした。赤い糸のひもを窓に結ぶことは、キリストの贖う血を公に告白することを予表します。ラハブはこのしるしによって、彼女と彼女の家族が救い出されると信じた。

C. ラハブは罪定めされたカナン人であり、神によって永遠にのろわれた場所であるエリコの遊女でしたが、神と神の民に転向した後、サルモンと結婚しました。サルモンは、イスラエルの指導的な部族であるユダのリーダーの子であり、またおそらく二人の斥候の一人であったでしょう。それから彼女は敬虔な人であるボアズを生み、ボアズからキリストが出て来ました。そして彼女は肉体と成ることにおけるキリストに結び付けられました。それは神の永遠のエコノミーを完成するためでした。**D.** このことが示しているのは、私たちの背景にかかわらず、もし私たちが神と神の民に転向し、(物質的な意味でなく、霊的な意味において)神の民の間の正しい人に結合されるなら、私たちは正しい実を生み出し、キリストの長子の権を享受することにあずかるということです。

II. エリコの破壊の後、イスラエルはアイで打ち破られました。エリコでは、神のエコノミーにしたがって、ヨシュアは斥候を遣わしました。それは戦うためではなく、ラハブを得るためでした。しかしアイでは、イスラエルは主の臨在を失っていたので、ヨシュアは戦うために斥候を遣わしました:

A. ヨシュアに対する斥候たちのアイに関する報告は、イスラエルが神をわきに置いていたことを示します。彼らはアイに対して何を行なうべきかを神に尋ねるのではなく、神を忘れ、ただ自分自身を顧慮するだけでした。その時、彼らは神と一ではなく、自分で行動し、主の導きを求めず、主の臨在がありませんでした。イスラエルは彼らの罪のゆえに、神から分離されました。

B. 私たちは良き地の実際としてのすべてを含むキリストに入り、所有し、享受しようとするなら、主の臨在によってそのようにしなければなりません。主はモーセに約束しました、「私の臨在があなたと共に行って、私はあなたに安息を与える」(出33:14)。神の臨在は神の道、すなわち「地図」であって、神の民に彼らが歩むべき道を示します。**C.** イスラエル人がカナンの地へと入り、エリコに対して勝利を得たとき、罪を犯した最初の人アカンでした。アカンの重大な罪についての、内在的で、霊的な意義と神聖な見方は、彼がバビロンの美しい外套(シナルは後にバビロンと呼ばれた地域です)をむさぼって自分自身を改善することを追い求め、外見をより良

く見せようとするものでした:**1.** 聖霊に対して偽ったアナニヤとサツピラは、同じ原則の罪を犯しました。これがバビロン、すなわち偽善の原則です。**2.** 人から栄光を受けるために虚偽の中で行なわれたすべての事は、遊女の原則において行なわれるのであって、花嫁の原則において行なわれるものではありません。偽りの献身は罪です。偽りの霊性も罪です。しかし真の礼拝は、霊と真実の中にあります。どうか神が私たちを真実な人とならせてくださいますように。**3.** 「人がどのように見るかではない。人は上辺を見るが、エホバは心を見られるからだ」(サムエル上16:7)。私たちが心に神の言葉を蓄え、キリストに私たちの心の中にご自身のホームを造っていただくなら、彼は私たちの心の良い宝となります。そして私たちの心にあふれ出たものから、私たちはこのすばらしい、良い宝としての彼を、他の人たちの中へと分与することができます。**III.** イスラエルは彼らの罪、アカンの罪を対処した後、アイに対して勝利を得ましたが、それからどのようにしてイスラエルの子たちがギベオン人によって欺かれたかについての記録があります:

A. ギベオン人はヒビ人であり、イスラエルによって消滅させられなければならなかったカナンの地の諸国民の一つでした。なぜなら、彼らは悪魔的で、悪鬼どもとミングリングされていたからです。ギベオンの住民は、彼らのこうかつさをもってイスラエルを欺きました。

B. 彼らはイスラエルがエリコとアイを打ち破ったことを聞いていたので、イスラエルと和を講じて契約を結びたかったのです。それはイスラエルが彼らを生かすためでした。彼らは使者であるかのようにして出て行き、遠くから来たふりをしました。彼らはギルガルの営所にいるヨシュアの所へ行って、彼とイスラエルの人々に次のように言いました、「私たちは遠い地からまいりました...私たちはあなたがたのしもべになります。ですから、私たちが契約を結んでください」(ヨシュア9:6,11)。**C.** ヨシュア9:14は、聖書の非常に強力な箇所であり、なぜイスラエルの子たちがギベオン人によって欺かれたのかを示しています-「彼ら[は]...エホバの助言を求めなかった」。こういうわけで、ヨシュアは和を講じ、彼らと契約を結んで彼らを生かしておいたのです。

1. イスラエルの子たちがギベオン人に欺かれたのは、彼らが夫を忘れた妻のようであったからです。全聖書は神聖なロマンスであり、どのように神が彼の選びの民に求愛し、最終的に彼らと結婚するかについての記録です。**2.** 聖書が見せているのは、私たちが神の選びの民として彼の妻であるということ、また彼と私たちとの間に相互の愛に基づいた結婚の結合があるということです。ですから、宇宙は婚宴の場所であり、手順を経て究極的に完成された三一の神である夫が、贖われ、再生され、聖別され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人に、結婚において結合されつつある場所です。最終的に、聖書は新天新地における神の選びの民の究極的完成としての、永遠にわたる宇宙的な妻としての新エルサレムで終わっています。**3.** 妻は決して自分の夫から離れるべきではありません。そうではなく、彼女は常に夫に依り頼み、彼と一であるべきです。ギベオン人がイスラエルの所に来たとき、妻としてのイスラエルは、夫の所に行き、何をすべきかについて彼に尋ねるべきでした。

CP1:神と神の民に転向した後、指導的部族の正当なリーダーたちと結合されるなら、正しい実を生み出す

OL1:二人の斥候がエリコに来たとき、ラハブ(遊女でありカナン人であった)は、彼らと接触し、彼女の信仰から出た行動によって進んで彼らを受け入れ、彼らを隠し、彼らを解き放ちました。ラハブはイスラエルの神を信じ、宣言しました、「エホバ・あなたがたの神、彼こそは、上は天にあっても下は地にあっても神であられる」(ヨシュア2:11)。

ラハブは斥候たちに、エホバがその地をイスラエルの民に与えておられること、この地の住民がみな彼らの前に溶けていることを、彼女は知っていると言いました。彼女は続けて、イスラエルがエジプトから出て来たとき、エホバがどのように紅海の水を彼らの前で干上がらせたか、また彼らが、アモリ人の二人の王、シホンとオグにしたこと、彼らを徹底的に滅ぼしたことを、自分たちは聞いていたと言いました。そしてラハブは宣言しました、「エホバ・あなたがたの神、彼こそは、上は天にあっても下は地にあっても神であられる」(ヨシュア2:11)。彼女は神にある信仰のゆえに、「不従順な者たちと共に滅びませんでした」(ヘブル11:31)。...ラハブは、ユダの部族のリーダーであるサルモンと結婚し、このユダヤ人のリーダーとの結合を通してイスラエルの一部分となり、ダビデの曾祖父ボアズを産みました。ラハブの名がマタイ1章のキリストの系図に含まれているとは、何という誉れでしょう!

第一の原則は、私たちの背景がどうであっても、神と神の民に転向しなければならないということです。第二に、私たちは物質的な意味でなく、霊的な意味において、正しい人と結婚しなければなりません。神と神の民に転向した後、私たちは正しい人と結合され、建造され、かかわらなければなりません。第三に、私たちは正しい実を生み出さなければなりません。そうすれば、私たちは完全にキリストの長子の権の分け前の中にあるでしょう。多くのクリスチャンは今日、長子の権を失ったかのようにです。彼らはサルモンとボアズを持っていません。サルモンとボアズを持つようとするなら、あなたは正当な信者たちと、指導的部族の正当なリーダーたちとかかわらなければなりません。次にあなたは正当な実、ダビデの先祖となる人ボアズを生む必要があります。私たちは主に転向しなければなりません。主の民に転向しなければなりません。どのようにして人とかかわるかに注意しなければなりません。

OL2:イスラエルのアイに対する敗北のかぎは、彼らが神の臨在を失い、もはや神と一でないことでした。この敗北の後、ヨシュアは契約の箱の前で主と共にとどまるという学課を学びました。最終的に、主は入って来て彼に語り、行なうべきことを彼に告げました。

OL3:この記録から学ぶべき霊的な学課は、私たち神の民が、私たちの神と常に一となるべきであるということです。彼は私たちの間にいるだけでなく、私たちの中にもいて、私たちを神を持つ人、すなわち神・人とします。

OL4:私たちは神・人として、主と一であり、彼と共に歩み、彼と共に生き、彼と共に存在することを実行すべきです。これがクリスチャンとして歩み、神の子供として戦い、キリストのからだを建造する道です。

OL5:私たちは主の臨在を持つなら、知恵、洞察力、先見性、事物に対する内なる認識を持ちます。主の

臨在は私たちにとってすべてです。

適用:新人及び青少年、大学生編

新人や若者の皆さんは、遊女ラハブの事例から三つの原則を学んでください。①私たちの背景がどうであっても、神と神の民に転向しなければならない:人がどの国の出身であっても、どのような宗教背景があっても、社会的な階級が高くて、低くても、学歴が高くて、低くても、その人は必ず神と神の民に転向しなければなりません。今、あなたは信仰とバプテスマによって、既にキリストと召会に転向しました。あなたは宇宙で最高の家族に、召会に、キリストのからだに転向し、からだの一体体となりました。ハレルヤ!

②正当な信者たちと、賜物のある肢体たち、導いているリーダーたちと結合される:キリストと召会に転向した後、あなたは主の回復の兄弟姉妹に結合すべきです。ヘブル13:17 あなたがたを導く人たちに従い、彼らに服しなさい。エペソ4:11 そして彼ご自身は、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧する者また教える者として与えられました。12 それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、

あなたは主の回復の召会生活に入り、二一兄弟と一兄弟の時代の務めを通して、神の永遠のエコノミーを認識することができました。更にあなたは地方召会の中で、キリストのからだを認識し、からだの中で、からだの建造のために奉仕しているリーダーたちにつながり、服してください。エペソ4章は、主があなたを神のエコノミーのために成就するのは、賜物を通してであり、主が直接成就するのではないと言っています。あなたは必ず賜物につながる必要があります。

③正当な実、ダビデの先祖となるボアズを生む:マタイ1:1 イエス・キリストの系図の書、彼はダビデの子であり、アブラハムの子である。5 サルモンはラハブからボアズを生み、ボアズはルツからオベデを生み、オベデはエッサイを生み、6 エッサイはダビデ王を生んだ。

ボアズの子孫がイエス・キリストを生みました。あなたが正しい人につながるなら、正当な実を生むことができます。それは長子の特権、すなわち地の二倍の分け前、祭司職、王職を持つためです。...更にヨシュア7章で、イスラエルはエリコの勝利の後、アイで失敗しました。形式主義、愚かさ、高ぶり、盲目のゆえに彼らは敵を侮りました。神と一つでなかったことが失敗の原因でした。彼らは神と交わり、神に助言を求めませんでした。...あなたはラハブの事例の三つの要点とアイの失敗の原因を理解し、主の御前で主と徹底的に交わってください。交わりの中で照らされた罪を告白し、更に深く交わってください。これらの真理の要点があなたの構成となり、長期の養いとなりますように。

祈り:おお主イエスよ、私は信仰とバプテスマにより、既にキリストと召会に転向しました。宇宙で最高の家族に、召会に、キリストのからだに転向し、からだの一体体となったことを感謝します。キリストと召会に転向した後、召会の中で、キリストのからだを認識し、からだの中で、からだの建造のために奉仕しているリーダーたちにつながり、従い、服します。そうすれば長子の権を得て、正当な実を生むことができます。アーメン!

CP2: 人から栄光を受けようとする偽善を対処し、花嫁の原則に従い主の直接の臨在を追い求める

OL1: 私たちは良き地の実際としてのすべてを含むキリストに入り、所有し、享受しようとするなら、主の臨在によってそのようにしなければなりません。主はモーセに約束しました、「私の臨在があなたと共に行って、私はあなたに安息を与える」(出33:14)。神の臨在は神の道、すなわち「地図」であって、神の民に彼らが歩むべき道を示します。

私たちは目に涙を浮かべながらも、日ごとに言わなければなりません、「主よ、あなたの微笑む臨在以外の何も、私を満足させません。私はあなたの栄光の御顔の微笑み以外の何も欲しくありません。私はこれを持つ限り、天が落ちて来ても地が裂けても気にしません。全世界が私に立ち向かってきても、あなたの笑顔が私の上にある限り、私はあなたを賛美することができ、すべては良いのです」。主は、「私の臨在があなたと共に行く」と言われました。何という宝でしょう! 主の臨在、笑顔が支配する原則です。私たちは主から何を受けても、彼の臨在を失うことを恐れなければなりません...主ご自身はあなたに何かを大いに与えられるかもしれませんが、まさにその事があなたから彼の臨在を奪うでしょう...私たちはただ主の臨在によって守られ、支配され、管理され、導かれることを学ばなければなりません...私たちは間接的な臨在を欲しくありません...主の直接の、直の臨在によって支配されるように努めてください。これは必要条件や資格だけではなく、あなたが前進してその地を所有するための力でもあります。主の直の臨在は大能をもってあなたを強め、キリストの豊満、すべてを含むことを獲得させます。主の直接の臨在の中に何という強さ、何という力があることでしょうか!

OL2: イスラエル人がカナンへの入り、エリコに対して勝利を得たとき、罪を犯した最初の人アカンでした。アカンの重大な罪についての、内在的で、霊的な意義と神聖な見方は、彼がバビロンの美しい外套(シナルは後にバビロンと呼ばれた地域です)をむさぼって自分自身を改善することを追い求め、外見をより良く見せようとするのでした。**OL3:** 聖霊に対して偽ったアナニヤとサツピラは、同じ原則の罪を犯しました。これがバビロン、すなわち偽善の原則です。彼らはあまり主を愛していませんでしたが、大いに主を愛した者のように見られたのです。彼らは装っていたにすぎませんでした。神の子供たちは人前で装うことから救い出される必要があります。**OL4:** 人から栄光を受けるために虚偽の中で行なわれたすべての事は、遊女の原則において行なわれるのであって、花嫁の原則において行なわれるではありません。偽りの献身は罪です。偽りの霊性も罪です。しかし真の礼拝は、霊と真実の中にあります。どうか神が私たちを真実な人とならせてくださいますように。

OL5: 「人がどのように見るかではない。人は上辺を見るが、エホバは心を見られるからだ」(サムエル上16:7)。私たちが心に神の言葉を蓄え、キリストに私たちの心の中にご自身のホームを造っていただくなら、彼は私たちの心の良い宝となります。そして私たちの心にあふれ出たものから、私たちはこのすばらしい、良い宝としての彼を、他の人たちの中へと分与することができます。

適用: ビジネスパーソン、大学院生編

ビジネスパーソンや研究者は、神は人の上辺を見るのではなく、人の心を見られることを認識してください。

アカン(シナル(バビロン))の美しい外套をむさぼって自分自身を改善することを追い求め、外見をより良く見せようとしていました。これがイスラエルのアイでの失敗の原因でした。これと同じ罪をペテロの時代のアナニヤとサツピラにも見ることができます。ある人々は主を愛し、財産の全てを捧げました。彼らは一部しか捧げていないのに、すべてを捧げたと言って、主を極みまで愛している振りをしました。これは心の中の偽善です。彼らが一部を捧げることは良いことであり、間違っている訳ではありません。しかし、彼らの心の中の偽善を、神は見ておられ、罪定めされました。偽善はバビロンの原則であり、神はバビロンのものを徹底的に滅ぼします。

あなたはただ主の臨在によって守られ、支配され、管理され、導かれることを学ばなければなりません。主の直の臨在は大能をもってあなたを強め、キリストの豊満、すべてを含むことを獲得させます。神の臨在を持つために、あなたは心の中の偽善を滅ぼさなければなりません。

墮落した人には本音と建前があります。特に日本人は、文化的に本音と建前を使い分けています。しかし、神の御言葉の光の下で Yes か No かをハッキリさせないことは「虚偽の知恵」です。新約の信者は皆預言者ですので、真実な言葉を語り、真理を実行すべきです。自分の虚偽の罪を告白し対処すれば、神の臨在を回復することができます。

証: 聖書を読んで主と交わっている時、自分の祈りの言葉が形式的であり、或いは建前であり、本音ではなく偽善であることに気付きました。例えば台湾の同労者が訪問して下さった時、自分の観念に合う交わりは喜んで受け入れましたが、観念に合わないことはあまり聞きたくなくなりました。しかし口では「アーメン」と言っていました。そんなことが何度もあった後、自分の内側に本音と建前があるのは偽善であることが分かりました。そしてこの偽善の故に、私は主と一つになることができず、主の直接の臨在と祝福を失っていることに気付きました。私は次のように何度も祈りました、「主イエスよ、あなたはバビロンの原則である偽善を憎み、徹底的に滅ぼすように言われます。私の古い人の中には偽善があります。私は古い人を十字架につけなければ、主と一つになることは不可能です」。そして少しずつ内側を開いて、偽善や見せかけを捨てて、主と正直に交わることができるようになりました。主との個人的で親密な交わりにより、様々な種類の偽善が暴露されるようになり、罪を告白して、古い人をその霊によって十字架に付けることができました。主との交わりが深まると、会社での人間関係や召会生活での交わりも改善することができました。

祈り: 主イエスよ、私の古い人の中にはアカンやアナニヤの要素があることを見ます。人から良く見られたいという古い人の感覚で無意識に本音と建前を使い分ける偽善があることを見ます。私の内側にある偽善を照らし暴露してください。主よ、主との臨在の中で親密に交わり、主の笑顔を見続けることができますように。私を主の中で誠実な人とならせてください。アーメン!

CP3:あらゆる事柄を主にもたらし、彼の御前で、また彼との交わりの中で、考察し、調べ、決定する必要がある

OL1:主を愛し、彼の勝利を得る花嫁の構成要素となることを渴望する信者として、私たちは自分が遭遇するあらゆる問題に関して神に相談すべきです。私たちはあらゆる事柄を主にもたらし、彼の御前で、また彼との交わりの中で、事を考察し、調べ、決定する必要があります。

IIコリント11:2私は神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます。なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。**OL2:**この面で、あらゆる信者が必要とするのは、自分が遭遇することに関して主と接触し、主に相談し、主に決定していただくことなしに、自分自身の考えを持たず、自分自身の決定をせず、いかなる行動も取らないという程度にまで弱くなることです。これが最も甘いクリスチャン生活です。**ピリピ4:6-7**何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してください。

OL3:私たちには別の選択肢はなく、ただすべての事において神と交わり、彼とすべての事を話し合い、彼にすべての事を取り扱っていただき、すべての事で語っていただき、あらゆる決定をしていただくだけです。クリスチャンがあらゆる時に、あらゆる事において、別の方(神)に依り頼むことは栄光です。**OL4:**神は、あなたが知らない道にあなたを導くなら、「あなたに強いて彼と何百回、何千回もの会話を持たせ、あなたと彼との間の永遠の記念となる旅をさせる結果になるでしょう」。

OL5:イスラエルが彼女の夫の助言を求めなかった結果、この独立した、個人主義的な妻は欺かれ、彼女には保護がなく、保障もありませんでした。聖書のこの記録から、私たちは主の妻として、彼と共に生き、常に彼に依り頼み、いつも彼と一であることを学ぶ必要があります。これがヨシュア9章の内在的な意義です。

仮に私が妻であり、貧しい女が私の所に来て助けを求めるとします。妻として、私は直接、自分自身でこの貧しい女に何かを行なうべきでしょうか? これは小さい事柄のように見えるので、私は自分の夫に尋ねないで、彼女に少しのお金といくらかのパンを与えるかもしれません。これがヨシュア9章で起こったことです。ギベオン人がイスラエルの所に来たのは、貧しい女が強い、上流階級の家庭の裕福な夫人の所に来たようなものです。妻であるイスラエルは自分の夫の所へ行って、彼に尋ねるべきでした。しかしイスラエルは、「エホバの助言を求めなかった」(9:14)のです。イスラエルはギベオン人によって欺かれ、彼らと契約を結びました。いったんイスラエルの民がこの契約を結び、エホバの御名によってギベオン人に誓ったなら、契約は変更されることができず、イスラエル人はギベオン人に触れることができませんでした。

以前、彼はあらゆる事に関して自分の見解、方法、洞察力を持っていました。しかし、クリスチャンになったその日から、彼は変えられ、もはや自分自身で物事を決定したり、独立したりすることはできません。彼は自分が遭遇するあらゆる問題に関して神と接触し、相談

すること、すなわち、あらゆる事柄を主にもたらし、主の御前で事を考察し、調べ、決定することが必要であると感ずります。この信者は最上の種類のクリスチャンです。

適用:奉仕者編

すべての国民にはそれぞれの文化があります。私たちは、どの文化が優れている、或いは劣っていると言っているわけではありません。それがどんなに優れていても、あなたにキリストが来たら、もはや文化に従っている古い私ではなく、キリストに従っている新しい私を生きる必要があります。リー兄弟は、「文化はキリストを置き換えるものであり、文化に従っていると、キリストを経験できなくなる」と言っておられます。これが問題なのです。**ガラテヤ5:4**律法(あるいは文化、宗教)によって義とされようとするあなたがたは、キリストから離され、無にもたらされています。あなたがたは恵みから落ちてしまったのです。

証:「私たちは自分が遭遇するあらゆる問題に関して神に相談すべきです。私たちはあらゆる事柄を主にもたらし、彼の御前で、また彼との交わりの中で、事を考察し、調べ、決定する必要があります」とOL1にあります。私は自分の天然の観念や宗教観念の故に、通常的环境内では主に相談すべきであるが、想定外の急激な変化がある時は相談してもしょうがないと考えて、不信仰に陥っていました。例えば、働いていた会社が競合他社に買収された時や、米国本社に反対していた日本法人の社長に嫌われた時に、「主もこの状況を変えられないので、主に相談しようがない」と考えました。しかし、これは私の天然の観念であり、私の不信仰でした。...このような失敗を何度も経験した後、「主イエスよ、私は制限された天然の観念で、あなたに接しています。あなたは無制限の方であるので、私は天然の観念を持ったままであなたと交わることはできません。私はいつまでも不信仰な弱さを愛し、弱さに留まり続けることはできません。主よ、私の古い人は改善不可能であり、望みが全くありません。しかし、この認識は失望ではなく、解放です。ハレルヤ、私の古い人はキリストと共に十字架に付けられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。このガラテヤ2:20を実行します。そうしなければ、私は主と一つになり、主の臨在と祝福を持つことはできません。アーメン! もはや私ではなく、キリストです」と何度も何度もこのように祈りました。そして徐々に、主の臨在の中で召会生活とビジネスライフが祝福されるようになりました。**ガラテヤ2:20** 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

祈り:主イエスよ、主を愛し、彼の勝利を得る花嫁となるために、私は自分が遭遇するあらゆる問題に関して主に完全に開き、相談します。すべての事において主と交わり、話し合い、主にすべての事を取り扱っていただき、語っていただき、あらゆる決定をしていただきます。もし主から独立し、個人主義的にふるまうなら、保護も保障もありません。主の妻として、あなたと共に生き、常にあなたに依り頼み、いつもあなたと一であることを学びます。